

科目	生活行動援助技術演習				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	講義、演習	授業時期	1 年
講師名	③渡邊知美 ③原田加代子 ③藤田景子				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	入院中の対象の日常生活行動をイメージできる事例を作成。生活行動援助技術で学んだ援助技術を組み合わせて、援助場面(シャワー浴の介助)を想定して、実践的な演習を行う。看護過程の学びを活かして、生活行動援助記録を用いて、計画・実施・評価できる。				
目標	脳梗塞後、左片麻痺のある患者のシャワー浴介助において、 1. 対象の状況を考慮した看護援助を計画することができる 2. 対象の状況を考慮し、看護援助を実施することができる 3. 実施した看護援助の結果を評価し考察することができる 4. 患者役を経験することで、自己の援助につなげることができる 5. グループ活動を通して、自己の役割を全うするとともに、グループ間で協力し合うことができる				
授業計画					
回	内容				
1	課題演習の進め方 事例演習				
2	グループに分かれてシャワー浴演習				
3	グループに分かれてシャワー浴演習				
4	グループに分かれてシャワー浴演習				
5	グループに分かれてシャワー浴演習				
6	グループに分かれてシャワー浴演習				
7	グループに分かれてシャワー浴演習				
8	グループに分かれてシャワー浴演習				
9	グループに分かれてシャワー浴演習				
10	グループに分かれてシャワー浴演習				
11	シャワー浴実技テスト				
12	シャワー浴実技テスト				
13	シャワー浴テスト振り返り				
14	3 年生指導演習				
15	3 年生指導演習				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 実技 50%、援助記録 25%、相互評価 5% 記録物提出状況 20% を総合して評価する 60 点以上を及第点とする。				
教科書	基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ：医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 第 3 版：医学書院				